

現在の景気：県内景気は、全体として持ち直しの動きが続いている。非製造業では、行動制限の緩和が維持される下で、観光や飲食などの対面サービス業を中心に回復基調にある。製造業では、世界貿易回復などに支えられた改善基調を概ね維持している。この間、建設需要は、交通インフラ整備や物流施設などの官民プロジェクトの進展や都市部を中心とした堅調な住宅ニーズなどを背景に、底堅く推移している。

3 か月程度の見通し：対面サービス業など非製造業の業況は、感染が次第に落ち着くことなどを前提に、持ち直しの動きが続くとみられる。この間、製造業では標準シナリオでは改善基調が維持される見込みだが、世界貿易の下振れリスクを十分に注視する必要がある。

個人消費：①上向き。②7 月の県内百貨店（存続店ベース）の売上は、前年同月比 6.7%増と 9 か月連続で前年を上回った（19 年比では 10.0%減）。気温上昇と外出機会の増加により、夏物衣料・雑貨や化粧品が好調だったほか、高額品の堅調も続いた。感染が拡大した下旬には、やや客足が鈍ったが、影響は限定的で、8 月も持ち直しの動きが続いた模様。7 月の自動車登録台数は同 3.4%減と、世界的な部品の調達難などに伴う生産計画未達の影響で 13 か月連続で前年を下回った（19 年比では 25.7%減）。軽乗用車（前年同月比 9.3%増）は 2 か月連続で増加したが、一般乗用車（同 13.5%減）は 11 か月連続で前年を下回った。

住宅建築：①増加基調。②7 月の新設住宅着工戸数は前年同月比 11.6%増加し、2 か月ぶりに前年を上回った。持家（同 6.5%減）は減少したが、貸家（同 23.8%増）、分譲（同 14.6%増）が増加した。

設備投資：①堅調。②国土交通省の「建設着工統計」（非居住用）によると、7 月の工事床面積（年度累計）は前年度比 15.5%減少し、工事予定額も同 16.4%減少した。千葉経済センターによる県内企業 216 社アンケート調査（7 月実施）では、22 年度の設備投資計画（6 月末時点）は、期初計画比（全産業）で 1.4%の減額修正となったが、21 年度実績額を 69.7%上回っている。

公共工事：①増加。②7 月の県内公共工事請負額（年度累計）は、前年同月比 9.7%増加した。国（同 6.4%減）は減少したが、独立行政法人等（同 92.0%増）、市町村（同 6.9%増）、県（同 3.5%増）は増加した。

輸出：①増加。②7 月の成田、千葉、木更津 3 港合計通関輸出額は、前年同月比 28.9%増と 17 か月連続で増加した（19 年比は 62.0%増）。成田空港では、半導体等製造装置（前年同月比 48.1%増）や IC（同 41.9%増）を中心に同 25.1%増と 17 か月連続で前年を上回り、同月として過去最大となった。千葉港は、石油製品（同 3.0 倍）や鉄鋼（同 49.5%増）などの増加により、同 2.1 倍と 15 か月連続で前年を上回った。木更津港は、鉄鋼（同 12.7%増）などの増加により、同 11.5%増と 16 か月連続で前年を上回った。

生産活動：①増加。②6 月の県鉱工業生産指数（季調済）は、96.5（前月比 0.7%上昇）と 4 か月連続で上昇した。鉄鋼業（同 8.9%低下）、化学工業（同 1.4%低下）などは低下したが、石油・石炭製品工業（同 7.3%上昇）、金属製品工業（同 3.0%上昇）などが上昇した。

観光：①持ち直し。②3 年ぶりに行動制限が緩和された夏季シーズンを迎え、観光・宿泊施設の入り込みは個人客を中心に好調だった。主要観光地の動きをみると、お盆期間中の来園者数が、東京ドイツ村で前年比約 2 倍（11～15 日）、成田ゆめ牧場で同+約 68%増（11～16 日）となった。観光需要回復を後押しする県民割「千葉とく旅キャンペーン」の利用期間は 9 月末まで延長されている。

雇用情勢：①改善基調。②7 月の有効求人倍率（季調値）は、前月比 0.01 ポイント低下の 0.99 倍となった。6 か月連続で上昇し、6 月に 1 倍台に回復したのち、やや悪化した。有効求人数の減少幅（同 1.3%減）が有効求職数（同 0.5%減）の減少幅を上回った。

【トピックス】

○ 千葉市において、国内最大級の野外音楽イベントの開催が相次いだ。蘇我スポーツ公園では、6 日、7 日、11 日、12 日の 4 日間に「ロック・イン・ジャパン・フェスティバル」が開催された。19 年までは茨城県ひたちなか市で開催されていたが、都内から近いうえ、面積が広くて密になりにくい同公園にステージを移した。20～21 日には、幕張メッセと ZOZO マリンスタジアムにおいて音楽フェスティバル「サマーソニック」が復活。いずれのイベントもコロナ禍を経て 3 年ぶりの開催となる。

○ 花火大会も再開の動きがみられた。千葉市幕張海浜公園において「幕張ビーチ花火フェスタ」（第 44 回千葉市市民花火大会）が開催されたほか（6 日）、館山市では「館山観光まつり・館山湾花火大会」（8 日）が実施され、全国の学生が花火を背景にフラメンコを踊る恒例の「花火とフラメンコ」も開催された。ともに開催は 3 年ぶり。このほか県内では、「松戸花火大会」（3 年ぶり、例年の 8 月から 10 月に開催時期を変更）の再開も予定されている。